

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
1 0 6 - 2 3 7	高等学校	国語科	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針

1. 近現代のすぐれた文章に触れることにより、言語感覚を磨き、知識と教養を身に付け、豊かな感性や情緒を育むことができるようにした。
2. 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力を養い、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。
3. 対話的・協働的な学習活動を積み重ねることにより、さまざまな社会的要請に応え得る人間性の育成に役立てられるようにした。
4. 現代社会における問題を具体的に扱った教材を意識的に採録して、人間・環境・社会などさまざまな課題に向き合う態度を養うことができるように配慮した。
5. 我が国の言語文化の伝統を深く理解したうえで、言葉によつて的確に理解し、適切に交流する能力をはぐくみ、真に国際的な人間形成を促すことを期した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
視野を広げる — 自己	・ 真理を探究する人間のありようを示すことにより、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられるようにした（第1号）。 ・ コミュニケーションを円滑に行えるよう、書き方の基礎を身に付け、自分の考えや事柄を国語で適切に伝える能力を伸ばせるようにした（第1号）。 ・ 個性を肯定するとともに、多様な価値観について述べた題材を採録し、異なる立場からの意見を尊重する態度を身に付けられるように配慮した（第2号）。 ・ コミュニケーションを円滑に行えるよう、話し方の基礎を身に付けたり、口頭で案内したりする活動を設定し、自分の考えや事柄を国語で適切に伝える能力を伸ばせるようにした（第1号）。	p. 14～p. 19 p. 20～p. 25 p. 26～p. 32 p. 33～p. 36
自分の立場を明確にする — 言語	・ 言葉のはたらきに理解を深め、語彙や表現を豊かにして、社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けることを目指した（第1号）。 ・ スピーチを行う活動を設定し、自分の考えや事柄を国語で適切に伝える能力を伸ばせるようにした（第1号）。 ・ 文章の論理構造を捉えて論理的に考える力を育み、社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けることを目指した（第1号）。	p. 38～p. 45 p. 51～p. 56 p. 46～p. 49 p. 50

根拠を示す —文化	・比較文化論を採録して、我が国の言語文化に対する関心を喚起するとともに、他国の文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。 ・生徒にとっての実社会と深く関わる、紹介文を書く活動を設定し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。 ・文章の論理構造を捉えて論理的に考える力を育み、社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けることを目指した（第1号）。	p. 58～p. 66 p. 73～p. 78 p. 67～p. 71 p. 72
論理的に考える —情報・コミュニケーション	・情報化の進展、科学技術の発展など、現代の諸問題を取り上げた題材を採録し、生徒が社会の形成と発展について考察を深められるよう配慮した（第3号）。 ・文章の構成や論展開を捉え、論理的に考える力を育むことで、社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けることを目指した（第1号）。	p. 80～p. 91 p. 95～p. 98 p. 92～p. 94
情報を読み取る —社会	・数量化の意義について述べた題材を採録し、生徒が社会の形成と発展について考察を深められるよう配慮した（第3号）。 ・生徒にとっての実社会である、学校生活に関わる題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。 ・レポートを書くという、実社会と深く関わる題材を積極的に採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。	p. 100～p. 109 p. 116～p. 119 p. 120～p. 124
伝えたいことを明確にする —相互理解	・言語の機能や言語表現の多様性について述べた題材を採録し、生徒が公共の精神に基づき、社会の形成と発展について考察を深められるよう配慮した（第3号）。 ・生徒にとっての実社会と深く関わる、取扱説明書を書く活動を設定し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。 ・個人の価値や、多様な価値観について述べた題材を採録し、異なる立場からの意見を尊重する態度を身に付けられるように配慮した（第2号）。 ・コミュニケーションを円滑に行えるよう、口頭で案内する活動を設定し、自分の考えや事柄を国語で適切に伝える能力を伸ばせるようにした（第1号）。	p. 126～p. 137 p. 138～p. 141 p. 142～p. 149 p. 150～p. 154

考えを深める 一仕事	・働くことについて考察した題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深められるようにした（第2号）。 ・自転車危険運転に関する法律文という、生徒にとっての実社会と深く関わる題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。 ・話し合って意見をまとめる活動を設定し、自ら課題を設定して取り組む態度を養うことができるように配慮した。課題の内容についても、生徒の自由な創造性を伸ばすことを目的にしたものを取り入れた（第2号）。	p. 156～164 p. 165～168 p. 169～174
社会に目を向ける 共に生きるとい うこと	・生命、環境、紛争といった、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生命を尊ぶ態度を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第4号）。 ・目的に合わせて機器を用いたり、情報を収集して適切に扱ったりといった、現代社会において重要とされる能力を高めることを目指した（第1号）。 ・社会に対する意見文を書く活動を設定し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。	p. 176～188 p. 189～197 p. 198～203 p. 204～208

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・第二条第3号及び、学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を踏まえ、評論教材の最後に「学習の手引き」「言語活動の手引き」「言葉の手引き」として課題を用意し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を設定した。教材の内容や構成などについて理解を深め、自らの考えを的確に表現する資質・能力を養うとともに、生徒相互の意見交流を通じて、多角的で客観性のある批判的思考能力を養えるよう配慮した。
- ・「コラム」を設定して、目的に合わせて機器を用いたり、情報を収集して適切に扱ったりといった、現代社会において重要とされる能力を高めることができるようにした。
- ・読書を勧める内容の題材を採録したり、「読書のしるべ」を設定したりするなどして、言語文化に対する興味・関心を喚起し、読書の幅を広げることができるようにした。
- ・「資料編」に、表記や表現、文字や語彙、コミュニケーションに関する実用的な資料を採録し、実生活に必要な知識と教養を身に付けることができるようにした。
- ・書体にユニバーサルデザインフォントを取り入れたほか、カラーユニバーサルデザインにも配慮し、すべての生徒にとって学びやすい紙面となるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-237	高等学校	国語科	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

①単元構成・教材選定

- ・国語の資質・能力を育成し、実社会に必要な国語の知識や技能を効果的に身につけるため、思考力・判断力を育成するための学びと、表現力を育成するための学びとが、それぞれ系統的に行えるように教材を配置した。
- ・評論、および、実用的な文章を取り上げた箇所では、身につけたい国語の力と文章テーマとを意識して単元を構成し、教材どうしが有機的な繋がりをもって学習できることを意図した。
- ・「A 話すこと・聞くこと」と「B 書くこと」に関わる教材を取り上げ、「現代の国語」の目標に掲げられている、「他者との関わりの中で伝え合う力を高め」るための学びを実現することを意図した。
- ・「C 読むこと」の教材選定にあたっては、生徒の発達段階や中学校の国語科との接続にも配慮しつつ、高校生が身につけておくべき幅広い知識を提供し得る作品をさまざまな分野から厳選し、人間や社会に対する視野や考えが次第に広がり深まるように教材を配列した。
- ・単元の扉に、単元の各教材で学習する内容を「学習のねらい」として示し、教材の意図を学習者全体で共有しながら学びに取り組むことができるようにした。
→「生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る」ための配慮。

②[知識及び技能]への対応

- ・「注意すべき語句」を抽出したり、「言葉の手引き」を設定したりして、「C 読むこと」の内容と関連づけながら漢字・語句・表現・修辞等の知識を深めるとともに、文脈の中で語感を磨き、語彙を豊かにできるようにした。
- ・情報と情報との関係については、「C 読むこと」の内容と関連づけながら「学習の手引き」で理解を深めるとともに、「論理の展開を捉える」を設け、情報どうしの関係性に注目して論理構造を捉えるための方法を示した。
- ・巻末に「資料編」、巻頭と巻末に「口絵」を用意し、豊富な資料や写真・図版を掲載して、知識をより深めるための一助とした。
- ・作品ごとに作者解説を付し、出典の情報を示して読書につながる興味づけを図るとともに、評論に関しては「読書のしるべ」を巻頭に掲載して、読書の幅を広げることができるように意図した。

③[思考力、判断力、表現力等]への対応

- ・「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」に関しては、言語活動を主体として教材を設定し、具体的な活動を通して表現力や想像力を高め、自分の考えを広げて伝え合う能力を育成することを目ざした。教材として取り上げる項目は、「言語活動例」に示された内容に即して選定した。
- ・「C 読むこと」に関しては、脚注の「問」、および「学習の手引き」「言語活動の手引き」の三つの課題設定によって、作品の内容理解を深め、興味を広げることができるようにした。
*「問」は、本文を解釈するうえでポイントとなる箇所に、内容理解を確認する目的で示した。
*「学習の手引き」は、文章全体の構成の把握、構成を支えている論理（各段落のはたらき、段落相互の関係、論展開など）の把握、「学習のねらい」に沿った内容の解釈および評価という、基本的に三つの事柄を行うことを主旨として設定した。
*「言語活動の手引き」は、本文を学習して得た知識や、本文に関連する事柄などをもとに、文章を書いて発表したり、調査・報告を行ったりするなど、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」の両方に関わる言語活動を行うことを主旨として設定した。取り組み方や手順について導入が必要となるものについては、別ページに独立させて、段階的に活動を設定した。
*一部の言語活動について、活動に取り組むうえで必要となる文章を「参考」として示した。
- ・実用的な文章は、実用と活用に重点を置いて、言語活動を主体とした課題設定を行った。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容										該当箇所	配当時数			
		知識及び技能			思考力・表現力・判断力等								聞くこと・	書くこと	読むこと	計
単元	教材	(1)	(2)	(3)	聞くこと(1)・	聞くこと(2)・	書くこと(1)	書くこと(2)	読むこと(1)	読むこと(2)						
視野を広げる —自己—	枠を壊して自由に生きる	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.14～p.19		1	1	2	
	書き方の基礎レッスン	イ・オ・カ					イ・ウ				p.20～p.25		2		2	
	なぜ本を読むのか	イ・ウ・エ・オ	ア・イ・ウ	ア					ア・イ	ア	p.26～p.31			1	1	
	〔言語活動〕読書の効用について、自分の考えを発表しよう				ア・イ・ウ	ア					p.32	1			1	
	話し方の基礎レッスン	イ・カ			ア・イ・ウ						p.33～p.36	3			3	
自分の立場を明確にする —言語—	言葉遣いとアイデンティティ	ア・イ・ウ・エ・オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.38～p.45		1	1	2	
	スピーチで自分を伝える	イ	エ		ア・イ・ウ・エ	ア					p.46～p.49	3			3	
	論理の展開を捉える【具体と抽象】 日本語は世界をこのように捉える	ア・オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.50～p.56		1	1	2	
根拠を示す —文化—	水の東西	ウ・エ・オ・カ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.58～p.64		1	1	2	
	〔言語活動〕水に関わる芸術や文化を調べ、その魅力を紹介しよう						ア・イ・ウ	ア・ウ			p.65～p.66		2		2	
	地域の魅力を伝える紹介文を書く	イ・オ	エ				ア・イ・ウ・エ	イ			p.67～p.71		2		2	
	論理の展開を捉える【対比】 「間」の感覚	オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.72～p.78		1	1	2	
論理的に考える —情報・コミュニケーション—	私たちはなぜ承認を求めるのか	イ・ウ・エ・オ・カ	ア・イ・ウ						ア・イ	ア	p.80～p.89			1	1	
	〔言語活動〕SNS利用についてのリーフレットを作成しよう						ア・イ・ウ	イ			p.90～p.91		2		2	
	論理の展開を捉える【主張と根拠】 【主張と反論】【推論】 コンピュータが作る俳句	オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.92～p.98		1	1	2	
情報を読み取る —社会—	数量化のジレンマ	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ						ア・イ	ア・イ	p.100～p.107			1	1	
	〔言語活動〕アンケート調査の目的を捉え、調査方法を改善しよう						イ・ウ	ウ			p.108～p.109		2		2	
	〔コラム〕適切な情報を集めるには		エ								p.110～p.113					
	〔コラム〕情報を正しく引用するには		オ								p.114～p.115					
	学校新聞の記事内容を検討する	オ	エ・オ				イ・ウ・エ	ア・イ	ア・イ	ア・イ	p.116～p.119		0.5	0.5	1	
	生活実態を報告するレポートを書く	イ・オ	エ				ア・イ・ウ・エ	ウ			p.120～p.124		3		3	
伝えたいことを明確にする —相互理解—	言語としてのピクトグラム	ア・ウ・エ・オ	ア・イ・ウ						ア・イ	ア・イ	p.126～p.135			2	2	
	〔言語活動〕資料を読み、問題のある公共サインの改善案を提案しよう						イ・ウ	ア			p.136～p.137		2		2	
	身近な製品の取扱説明書を作成する	イ・オ	エ				イ・ウ・エ	イ			p.138～p.141		2		2	
	ステレオタイプの落とし穴	ア・ウ・エ・オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア・ウ	ア・イ	ア	p.142～p.149		1	2	3	
	相手に伝わる案内をする	イ	エ		ア・イ・ウ・エ	イ					p.150～p.154	3			3	
考えを深める —仕事—	人はなぜ仕事をするのか	イ・ウ・エ・オ・カ	ア・イ・ウ						ア・イ	ア	p.156～p.163			2	2	
	〔言語活動〕筆者の問いに対する考えをグループで話し合おう				イ・ウ・エ・オ	ア・ウ					p.164	2			2	
	法律の改正に関わる文章を読み比べる	オ	ウ・エ				ア・イ・ウ	ア	ア・イ	ア・イ	p.165～p.168		0.5	0.5	1	
	意見をまとめる話し合いをする	イ	エ		ア・イ・ウ・エ・オ	ウ					p.169～p.174	4			4	
社会に目を向ける —共に生きる— ということ	黄色い花束	ウ・エ・オ	ア・イ・ウ				イ・ウ	ア	ア・イ	ア	p.176～p.188		1	2	3	
	「生物多様性」はなぜ大事なのか	イ・ウ・エ・オ・カ	ア・イ・ウ				ア・イ・ウ	ウ	ア・イ	ア	p.189～p.197		1	2	3	
	理想の修学旅行をプレゼンする	イ	エ		ア・イ・ウ・エ	エ					p.198～p.203	4			4	
	社会に対する意見文を書く	イ・オ	エ				ア・イ・ウ・エ	ウ			p.204～p.208		3		3	
計												20	30	20	70	

杏	之	弘	箴	几	也	淳	剽	蛙	蕉	芭	斧	繹	乖	濡	伊	爾	灞	廿	沌	鷗	阿	樋	猪	笕	嬌	伽	繫	訊	敲	芥	梢	湫	浩	漢字																																						
131	126	126	111	105	100	100	95	95	95	95	95	94	83	74	73	73	68	67	63	63	63	58	58	58	58	53	53	51	47	30	25	14	14	ページ																																						
蚰	蚤	鯖	鯉	鰻	鳩	雀	烏	鵠	鸚	吞	鵜	狸	狐	兎	鼬	訣	鼠	撥	拗	杖	蔓	箒	鴝	亘	饅	呆	怯	礫	煉	疇	扮	嶼	尖	漢字																																						
231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	224	224	205	195	189	189	188	188	182	178	176	176	170	151	146	146	ページ																																						
																																																								藪	嘘	瓜	蛛	漢字												
																																																																				232	232	232	231	ページ

常用漢字以外の使用漢字一覧表

音訓一覧表

漢字	音訓	ページ
否応なく	いやおうなく	14
又吉直樹	またよしなおき	26
逸郎	いっお	51
正和	まさかず	58
鹿おどし	ししおどし	58
魅きつけた	ひきつけた	59
世阿彌	ぜあみ	63
枯山水	かれさんすい	66
龍安寺	りょうあんじ	66
厳島	いづくしま	67
弥山	みせん	68
高階	たかしな	73
伊勢	いせ	73
切妻型	きりつまがた	73
下駄	げた	75
眼	め	78
戸谷洋志	とやひろし	80
抛り	より	85
政男	まさお	95
白百合	しらゆり	95
活かし方	いかしかた	107
秀男	ひでお	131
伊都夫	いっお	142
樹	たつる	156
明後日	あさつて	157
雅士	まさし	159
家	うち	176
武能	たけよし	179
一喜	かずよし	187
女川	おながわ	188
吉永明弘	よしながあきひろ	189
由二	ゆうじ	194
七転八起	ななころびやおき	225

出典一覧表

〔国語教材〕

申請図書			出典					備考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
14～18	枠を壊して自由に生きる	国語教材	枠を壊して自分を生きる。 自分の頭で考えて動くためのヒント	はじめに	石黒浩	三笠書房	2017年	
26～30	なぜ本を読むのか	国語教材	夜を乗り越える（初版第1刷）	135～140	又吉直樹	小学館	2016年	
38～44	言葉遣いとアイデンティティ	国語教材	翻訳がつくる日本語——ヒロインは「女ことば」を話し続ける（第1版第1刷）	62～69	中村桃子	白澤社	2013年	
51～56	日本語は世界をこのように捉える	国語教材	日本語は哲学する言語である（初版）	75～83	小浜逸郎	徳間書店	2018年	
58～63	水の東西	国語教材	混沌からの表現（第2刷）	131～134	山崎正和	PHP研究所	1977年	
73～78	「間」の感覚	国語教材	西洋の眼 日本の眼（第1刷）	42～47	高階秀爾	青土社	2001年	
80～88	私たちはなぜ承認を求めるのか	国語教材	SNSの哲学 リアルとオンラインのあいだ（第1版第1刷）	4～5、14～34	戸谷洋志	創元社	2023年	
95～98	コンピュータが作る俳句	国語教材	哲学者クロサキの哲学超入門（初版第1刷）	151～154	黒崎政男	平凡社	2016年	
100～106	数量化のジレンマ	国語教材	数字のセンスを磨く データの読み方・活かし方（初版第1刷）	4～6、19～31	筒井淳也	光文社	2023年	
126～134	言語としてのピクトグラム	国語教材	街の公共サインを点検する——外国人にはどう見えるか（初版第1刷）	95～106、143～155	本田弘之他	大修館書店	2017年	
142～148	ステレオタイプの落とし穴	国語教材	多文化共生のための異文化コミュニケーション（初版第1刷）	125～134	原沢伊都夫	明石書店	2014年	
156～162	人はなぜ仕事をするのか	国語教材	期間限定の思想——「おじさん」的思考2（7刷）	40～49	内田樹	晶文社	2011年	
176～186	黄色い花束	国語教材	小さいときから考えてきたこと（第6刷）	30～37	黒柳徹子	新潮社	2008年	
189～196	「生物多様性」はなぜ大事なのか	国語教材	はじめて学ぶ環境倫理 未来のために「しくみ」を問う（初版第1刷）	75～86	吉永明弘	筑摩書房	2021年	

※上記のもの以外については、編集委員による書き下ろしである。

〔図・地図〕

申 請 図 書			出 典					備考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
103	週あたり食事の用意の回数分布	図版	数字のセンスを磨く データの読み方・活かし方（初版第1刷）	27	筒井淳也	光文社	2023年	左の出典をもとに作製
113	最近1ヶ月に読んだ本の冊数	図版	子供の読書活動の推進等に関する調査研究		浜銀総合研究所		2017年	左の出典をもとに作製
142		図版	多文化共生のための異文化コミュニケーション	125	原沢伊都夫	明石書店	2014年	左の出典をもとに作製
143		図版	多文化共生のための異文化コミュニケーション	126	原沢伊都夫	明石書店	2014年	左の出典をもとに作製

※上記以外のものについては自社で作成。

出典一覧表

〔写真〕

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
見返①	『〈自分らしさ〉って何だろう?』	写真	『〈自分らしさ〉って何だろう?: 自分と向き合う心理学』	表紙	榎本博明	筑摩書房	2015年	自社で撮影
見返①	『言語の本質』	写真	『言語の本質—ことばはどう生まれ、進化したか』	表紙	今井むつみ・秋田喜美	中央公論新社	2023年	自社で撮影
見返①	『増補 民族という虚構』	写真	『増補 民族という虚構』	表紙	小坂井敏晶	筑摩書房	2011年	自社で撮影
見返①	『デザインのデザイン』	写真	『デザインのデザイン』	表紙	原研哉	岩波書店	2003年	自社で撮影
見返②	『「利他」とは何か』	写真	『「利他」とは何か』	表紙	伊藤亜紗他	集英社	2021年	自社で撮影
見返②	『ふむふむーおしえて、お仕事!』	写真	『ふむふむーおしえて、お仕事!』	表紙	三浦しをん	新潮社	2015年	自社で撮影
見返②	『他者の靴を履く』	写真	『他者の靴を履く—アナーキック・エンパシーのすすめ』	表紙	ブレイディみかこ	文芸春秋	2021年	自社で撮影
見返②	『実践で学ぶ〈生物多様性〉』	写真	『実践で学ぶ〈生物多様性〉』	表紙	鷲谷いづみ	岩波書店	2020年	自社で撮影
見返②	『AI・ロボットと共存の倫理』	写真	『AI・ロボットと共存の倫理』	表紙	西垣通編	岩波書店	2022年	自社で撮影
見返②	『「今、ここ」から考える社会学』	写真	『「今、ここ」から考える社会学』	表紙	好井裕明	筑摩書房	2017年	自社で撮影
見返②	『「しきり」の文化論』	写真	『「しきり」の文化論』	表紙	柏木博	講談社	2004年	自社で撮影
14	夏目漱石	写真						日本近代文学館:P0002499
15	イシグロイド	写真						大阪大学石黒研究室
15	漱石アンドロイド	写真						二松学舎大学
15	機械人間オルタ	写真						大阪大学石黒研究室
19	石黒浩	写真						時事通信フォト:043309918
30	又吉直樹	写真						吉本興業株式会社
45	中村桃子	写真						ユニフォンプレス:KDO_2007103000150
59	鹿おどし	写真						アフロ:9708313
60	エステ家の別荘の噴水	写真						ユニフォンプレス:ALA_ATN8JA
60	エステ家の別荘の噴水	写真						ユニフォンプレス:HAGAaf012367
60	エステ家の別荘の噴水	写真						ユニフォンプレス:ALA_BJPPMC
60	エステ家の別荘の噴水	写真						時事通信フォト:08025446
61	日本の庭園	写真						ユニフォンプレス:ALA_BC9174
63	山崎正和	写真						ユニフォンプレス:KDO2007012900035
66	枯山水	写真						PIXTA:56884615
66	曲水の宴	写真						サイネットフォト:THI110004099
66	ヴィルヘルムスヘーエ城公園	写真						ユニフォンプレス:ALA_JA1JCY
70	(秋の紅葉谷公園)	写真						PIXTA:39899930
71	(宮島弥山)	写真						PIXTA:40557081
74	濡れ縁	写真						アフロ:55931157
74	渡り廊下	写真						サイネットフォト:OKE110004093
76	鳥居	写真						伊勢神宮
89	戸谷洋志	写真						戸谷洋志
107	筒井淳也	写真						筒井淳也
128	写真1 ヘルシンキ駅	写真	『街の公共サインを点検する』	102	本田弘之	大修館書店	2017年	本田弘之
128	写真2 プラハ駅	写真	『街の公共サインを点検する』	102	本田弘之	大修館書店	2017年	本田弘之
130	トラム	写真						アフロ:236184884
131	写真3 シカゴ空港	写真	『街の公共サインを点検する』	143	本田弘之	大修館書店	2017年	倉林秀男
131	写真3 シカゴ空港(拡大画像左)	写真						倉林秀男
131	写真3 シカゴ空港(拡大画像右)	写真						倉林秀男
132	写真4 コペンハーゲン駅	写真	『街の公共サインを点検する』	145	本田弘之	大修館書店	2017年	本田弘之
134	本田弘之	写真						本田弘之
137	①神奈川県内の路線バス車内	写真	『街の公共サインを点検する』	148	本田弘之	大修館書店	2017年	本田弘之
137	②羽田空港第2ターミナル	写真	『街の公共サインを点検する』	149	本田弘之	大修館書店	2017年	本田弘之
137	③金沢駅 兼六園口	写真	『街の公共サインを点検する』	150	本田弘之	大修館書店	2017年	本田弘之
139	(シャープペンシルの操作)	写真						自社で撮影
139	(シャープペンシルの操作)	写真						自社で撮影
139	(シャープペンシルの操作)	写真						自社で撮影
140	(シャープペンシルの操作)	写真						自社で撮影
140	(シャープペンシルの操作)	写真						自社で撮影
141	(シャープペンシルの操作)	写真						自社で撮影
141	(シャープペンシルの操作)	写真						自社で撮影
148	原沢伊都夫	写真						原沢伊都夫
158	サクラガイ	写真						アーテファクトリー:B-60159
159	三浦雅士	写真						アーテファクトリー:jip00889820
160	クロマニヨン人(右)とネアンデルタール人(左)〈復元〉	写真						ユニフォンプレス:5.C0145911
162	内田樹	写真						内田樹
179	戦闘によって破壊された街 コソボ・プリシュティナ	写真						田沼武能
179	戦闘によって破壊された街 コソボ・ジャコバ	写真						田沼武能
185	黒柳大使のコソボ視察 地雷についての教育を受ける子供たち	写真						田沼武能

申請図書			出 典					備 考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
185	黒柳大使のコソボ視察 花束を渡す女の子	写真						田沼武能
185	黒柳大使のコソボ視察 難民キャンプ	写真						田沼武能
187	黒柳徹子	写真						吉田名保美事務所
189	トキ	写真						朝日新聞社:P181015000711
190	野生に近い環境での訓練	写真						朝日新聞社:P110824003503
190	放鳥の様子	写真						朝日新聞社:P200919000033
194	岸由二	写真						朝日新聞社:P140818000267
195	リベット(使用後)	写真						ユニフォトプレス:uniH_25.T945J3
196	吉永明弘	写真						吉永明弘
202	(スキー スキーヤーイメージ)	写真						素材辞典:99047088-047-088
202	(スキー ゲレンデイメージ)	写真						素材辞典:99047176-047-176
202	(焼肉)	写真						素材辞典:00006332-114-101
203	(スキー ゲレンデ滑走イメージ)	写真						素材辞典:99047079-047-079

(備考) 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、
補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。☒

原典に加除訂正を加えた箇所と加除訂正の理由

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由
視野を広げる —自己	p 14・1	僕は大学で、	僕は大阪大学で、	・特定の法人名の掲載を避けるため。
	p 14・1	しています。〈改行なし〉これまでに、	しています。〈改行〉これまでに、	・文章の流れを中断しないため。以下、文を続けた箇所については同様。
	p 14・2	はじめとして、動きで	はじめとして、タレントのマツコ・デラックスさんを模したマツコロイド、動きで	・煩雑さを避けるため、具体例を削除。
	p 14・3	オルタなど、	オルタなどなど、	・教科書として適切な表現にするため。
	p 14・5	多いでしょう。〈一行空きを削除〉		・評論教材としての学習上の配慮による。以下、一行空きの削除については同様。
	p 16・1	アンドロイドの	アンドロイド（通称・イシグロイド）の	・煩雑さを避けるため。
	p 16・8	あります。〈改行なし〉それは、「自分のことは	あります。〈改行〉「自分のことは	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。
	p 17・1	と言う人は、他人が決めた枠に	と言う人は、半分、人間を辞めているのと同じ。他人が決めたつまらない枠に	・教育的配慮による。
	p 17・15	しれません。	しれない。	・教科書として適切な表現にするため。
	p 17・15	しれません。〈改行・一行空き〉その「枠を壊す瞬間」が、	しれない。〈改行〉その「枠を壊す瞬間」が、	・評論教材としての学習上の配慮による。
	p 18・3	ようになります。	ようになる。	・教科書として適切な表現にするため。
	p 18・5	何者なのか」	何者なのか？」	・同上。
	p 18・11 p 26～30	壊しましょうか。 〈原文の削除・修正〉	壊しましょうか？ 〈大幅訂正のため略〉	・同上。 ・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表記・表現となるように修正を加えた。
自分の立場を明確にする —言語	p 38～44	〈小見出しの削除〉		・評論教材としての学習上の配慮による。
	p 38・2	「本質主義」と「構築主義」	本質主義と構築主義	・目立たせたほうがよいと思われたため。
	p 38・8	「女らしさ／男らしさ」	〈女らしさ／男らしさ〉	・一般的な符号に改めた。以下、符号については同様。
	p 39・1	基づいて、言葉を使う	基づいてことばを使う	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。以下、原典にない読点については同様。
	p 39・10	男が「女言葉」を使う場合もあるし、女も「男言葉」を使う場合がある。	男も「女ことば」を使う場合もあるし、女も「男ことば」を使う場合がある。	・教科書として適切な表現にするため。
	p 40・14	感じさせているのである。	〈このあと原文削除〉	・採録スペースの関係による。
	p 43・12	「お母さん」「お父さん」や「ママ」「パパ」	「お母さん、お父さん」や「ママ、パパ」	・それぞれの呼称を区別したほうがよいと思われたため。
	p 43・14	取り上げられていた。	取り上げられていた（「ママと呼ばないで！」『日本経済新聞』二〇〇八年四月一四日夕刊）。	・特に必要とは思われないため。
	p 44・12	必要になる。	〈このあと原文削除〉	・採録スペースの関係による。
	p 51・上2	使い分けています。	〈このあと原文削除〉	・同上。
	p 52・上 15	動詞連用形の多くが名詞化するのと同じように（「読み」「笑い」など）、	動詞連用形の多く（「読み」「笑い」など）が名詞化するのと同じように、	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。
	p 53・上 1	主語と述語を繫辞でつなぐ	繫辞による	・同上。
	p 53・上 10	「カードの有効期限はとうに切れている」	「私の父はとうに死んでいる」	・教育的配慮による。
	p 53・上14	こうしていくら	しかし、こうしていくら	・評論教材としての学習上の配慮による。
	p 54・上2	一般に言葉というものは	一般に言葉というものが、	・教科書として適切な表現にするため。
	p 54・上3 p 55・上10	という、固定化した言語観 「ある」という言葉は、	というスタティックな言語観 「ある」という言葉が、	・わかりやすくするため。 ・教科書として適切な表現にするため。
	p 55・上18 p 56・上9 p 56・上10～13	考えられます。 記述しているだけです。 このような……思います。	〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈原文の一部削除に伴って、文章を整えた〉	・採録スペースの関係による。 ・同上。 ・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由
根拠を示す —文化	p 73・上12 p 75・上16 p 75・上17 p 76・上9 p 76・上11 p 77・上7	大きな特徴である。（中国の建物にも軒下部分があるが、日本の場合ほど深くはない。） 区別されているのである。 家の内と外の区別は、 問題なのである。 鳥居の意味について 用いられたりする	大きな特徴である（中国の建物にも軒下部分があるが、日本の場合ほど深くはない）。 〈このあと原文削除〉 家の内と外、部屋の内と外の区別は、 〈このあと原文削除〉 鳥居や関守石の意味について 用いられる	・教科書として適切な表現にするため。以下、原典にない句点については同様。 ・採録スペースの関係による。 ・前項の訂正で削除した内容を受けける表現を削除。 ・採録スペースの関係による。 ・前項の訂正で削除した内容を受けける表現を削除。 ・教科書として適切な表現にするため。
論理的に考える —情報・コミュニケーション	p 80～88 p 95～98 p 95・上10 p 97・上2 p 97・上13 p 98・上2 p 98・上4 p 98・上5	〈原文の削除・修正〉 〈小見出し・一行空きの削除〉 スロットマシンのようなものです。 間違いなく受け取る。 かつて、魚の頭のほうに斑点があって、あたかも人間の顔のように見えた、「人面魚」と呼ばれた魚がいました。 発生させているわけです。 俳句なら、 コンピュータには	〈大幅訂正のため略〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈原文の一部削除・入れ換えに伴って、文章を整えた〉 〈このあと原文削除〉 俳句やロボットの心なら、 コンピュータやロボットには	・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表記・表現となるように修正を加えた。 ・評論教材としての学習上の配慮による。 ・部分採録のため。 ・特に必要とは思われないため。 ・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。 ・教科書採録箇所以外の部分をさした表現であるため。 ・同上。 ・同上。
情報を読み取る —社会	p 100～106	〈原文の削除・修正〉	〈大幅訂正のため略〉	・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表記・表現となるように修正を加えた。
伝えたいことを明確にする —相互理解	p 126～134 p 142～148	〈原文の削除・修正〉 〈原文の削除・修正〉	〈大幅訂正のため略〉 〈大幅訂正のため略〉	・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表記・表現となるように修正を加えた。 ・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表記・表現となるように修正を加えた。
考えを深める —仕事	p 156～162 p 157・1 p 157・7 p 157・11 p 158・5 p 158・9 p 158・11 p 158・12 p 158・13 p 159・4 p 159・4 p 159・5 p 160・2 p 160・11 p 162・8	〈一行空きを削除〉 人がいる。 私がフランス旅行で 買えない。 共有しているからなのだ。 存在するのであろう。 「貨幣の本質って何？」 「運動でしょ。」 運動にある 三浦雅士氏 現生人類の祖クロマニヨン人 とを隔てる 普通考える 道具である 同じである。	〈このあと原文削除〉 私が去年のフランス旅行で 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 三浦雅士 現世人類の祖クロマニヨン人 を隔てる 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉	・評論教材としての学習上の配慮による。 ・採録スペースの関係による。 ・発表時と現在とでは渡航時期が食い違っているため。 ・採録スペースの関係による。 ・同上。 ・煩雑さを避けるため、人名が列挙されている文を削除。 ・特に必要とは思われないため。 ・同上。 ・同上。 ・教科書としてより適切な表現にするため。以下、人名については同様。 ・より一般的な表記に改めた。以下、これらの語については同様。 ・並列関係を明確にするため。 ・教育的配慮による。 ・採録スペースの関係による。 ・同上。

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由
社会に目を向ける —共に生きるということ	p 176・3	ユニセフの	ユニセフ（国連児童基金）の	・読みやすくするため、説明は脚注に回した。
	p 176・4	ユーゴスラビア連邦セルビア共和国、	ユーゴスラビア連邦セルビア共和国（二〇〇三年、セルビア・モンテネグロに国名変更）、	・同上。
	p 182・7	小・中学校が、	小中学校が、	・教科書として適切な表現にするため。
	p 186・11	兵隊さんたちの帰ってこなかったことが、今も申しわけなく、私の心の傷になっている。	兵隊さん達が帰って来なかったことを、今も申しわけなく、私の心の傷になっている。	・主述の関係を明確にするため。
	p 189～196	〈小見出しの削除〉		・評論教材としての学習上の配慮による。
	p 191・5	何なのでしょうか。	〈このあと原文削除〉	・部分採録のため。
	p 191・7	広まっています。	〈このあと原文削除〉	・採録スペースの関係による。
	p 191・7	この「生物多様性」とは	しかし「生物多様性」とは	・筆者の意向による。
	p 191・14	言葉について考えてみましょう。	言葉について突っ込んで考えてみましょう。	・同上。
	p 192・3	「自然」は名詞ではなく、今で言うところの副詞・形容動詞として	「自然」は、名詞ではなく副詞・形容動詞として	・同上。
	p 192・5	のほうが、由緒正しいのです。	のほうが、歴史が古いのです。	・同上。
	p 192・6	ネイチャー（nature）にあてた	nature にあてた	・学習上の配慮による。以下、英単語のカタカナ表記については同様。
	p 192・13～14	必要があるのか」「絶滅だって……という疑問に通じます。	〈原文の一部削除に伴って、文章を整えた〉	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。
	p 193・8	手持ちの英和辞典の	手持ちの辞書の	・筆者の意向による。
	p 193・12	意味が載っています。	〈このあと原文削除〉	・採録スペースの関係による。
	p 193・13	広すぎるのです。	〈このあと原文削除〉	・同上。
	p 193・14	海外で野生動物の	海外では野生動物の	・筆者の意向による。
	p 194・2	多種多様であることがポイントに	多種多様であること、がポイントに	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。以下、読点の削除については同様。
	p 194・4	海外では	海外の研究では	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。
	p 194・5	岸由二は、	岸由二によれば、	・筆者の意向による。
	p 194・7	普及したと推測しています。	普及したのだ、といいます。	・同上。
	p 194・7	しています。	〈このあと原文削除〉	・同上。
	p 194・15	「流域」というエリアの中で、	「流域」に焦点を合わせて、	・同上。
	p 195・3	ダイバーシティ（多様性）が	diversity が	・学習上の配慮による。
	p 196・1	説明となっています	〈このあと原文削除〉	・特に必要とは思われないため。
	p 196・3	なるかと思います。	〈このあと原文削除〉	・採録スペースの関係による。
	p 196・4	種の絶滅は「自然」にたくさん	種の絶滅は自然にたくさん	・目立たせたほうがよいと思われたため。
	p 196・4	起こっています。	〈このあとの原文削除に伴って、文章を整えた〉	・採録スペースの関係による。
	p 196・4～6	問題は、これまでにないスピードで……そして、それが人間活動のせいだということ、	問題は、①これまでにないスピードで……そして、②それが人間活動のせいだということ、	・学習上の配慮による。
	p 196・6	この二点にあります。	〈このあと原文削除〉	・採録スペースの関係による。
	p 196・7	この二点を根拠にして、生物種の絶滅を防ぐ責任が人間にあると言えるのです。	生物種の絶滅を防ぐ責任が人間にある、ということが理解されたかと思います。	・筆者の意向による。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申 請 図 書			学習上の参考に供する情報			備 考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	5	二次元コード		自社ページURL	コンテンツリスト	別紙1添付
	5	URL		自社ページURL	コンテンツリスト	別紙1添付
	表4	二次元コード		自社ページURL	コンテンツリスト	別紙1添付
2	14	二次元コード		自社ページURL	枠を壊して自由に生きる 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙2-1添付
				自社ページURL	枠を壊して自由に生きる 語彙力ドリル 語句の意味	別紙2-2添付
3	15	二次元コード		自社ページURL	動画(石黒浩氏が製作したアンドロイド)	別紙3添付
4	20	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/kokokoza/watch/?das_id=D0022110020_00000	動画 (NHK高校講座 「適切な表現」)	
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/kokokoza/watch/?das_id=D0022110025_00000	動画 (NHK高校講座 「接続語」)	
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/kokokoza/watch/?das_id=D0022110031_00000	動画 (NHK高校講座 「比喩表現」)	
5	26	二次元コード		自社ページURL	なぜ本を読むのか 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙4-1添付
				自社ページURL	なぜ本を読むのか 語彙力ドリル 語句の意味	別紙4-2添付
6	38	二次元コード		自社ページURL	言葉遣いとアイデンティティ 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙5-1添付
				自社ページURL	言葉遣いとアイデンティティ 語彙力ドリル 語句の意味	別紙5-2添付
7	46	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/kokokoza/watch/?das_id=D0022110034_00000	動画 (NHK高校講座 「文の構成～スピーチ～」)	
8	50	二次元コード		自社ページURL	【具体と抽象】解説動画	別紙6添付
9	51	二次元コード		自社ページURL	日本語は世界をこのように捉える 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙7-1添付
				自社ページURL	日本語は世界をこのように捉える 語彙力ドリル 語句の意味	別紙7-2添付
10	58	二次元コード		自社ページURL	水の東西 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙8-1添付
				自社ページURL	水の東西 語彙力ドリル 語句の意味	別紙8-2添付
11	59	二次元コード		自社ページURL	動画 (鹿おどし)	別紙9添付
12	65	二次元コード		自社ページURL	水に関わる芸術や文化 解答例	別紙10添付
			龍安寺	http://www.ryoanji.jp/smph/index.html	参考リンク 1 龍安寺	
			城南宮	https://www.jonangu.com/kyokusuinoutage.html	参考リンク 2 城南宮	
			UNESCO世界遺産委員会	http://whc.unesco.org/ja/list/1413	参考リンク 3 ヴィルヘルムスヘーエ城公園	

申 請 図 書			学習上の参考に供する情報			備 考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
13	72	二次元コード		自社ページURL	【対比】解説動画	別紙11添付
14	73	二次元コード		自社ページURL	「間」の感覚 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙12-1添付
				自社ページURL	「間」の感覚 語彙力ドリル 語句の意味	別紙12-2添付
15	73	二次元コード	伊勢神宮	https://www.isejingu.or.jp/about/architecture/	参考リンク1 伊勢神宮	
			ギリシャ 文化・スポーツ省	http://odysseus.culture.gr/h/2/gh2562.jsp?obj_id=912&mm_id=3181	参考リンク2 パルテノン神殿	
16	80	二次元コード		自社ページURL	私たちはなぜ承認を求めるのか 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙13-1添付
				自社ページURL	私たちはなぜ承認を求めるのか 語彙力ドリル 語句の意味	別紙13-2添付
17	92	二次元コード		自社ページURL	【主張と根拠】解説動画	別紙14添付
18	93	二次元コード		自社ページURL	【主張と反論】解説動画	別紙15添付
19	94	二次元コード		自社ページURL	【推論】解説動画	別紙16添付
20	95	二次元コード		自社ページURL	コンピュータが作る俳句 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙17-1添付
				自社ページURL	コンピュータが作る俳句 語彙力ドリル 語句の意味	別紙17-2添付
21	100	二次元コード		自社ページURL	数量化のジレンマ 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙18-1添付
				自社ページURL	数量化のジレンマ 語彙力ドリル 語句の意味	別紙18-2添付
22	120	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180394_00000	動画(NHK for School 「アンケートの作り方」)	
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180396_00000	動画(NHK for School 「分析のしかた」)	
23	126	二次元コード		自社ページURL	言語としてのピクトグラム 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙19-1添付
				自社ページURL	言語としてのピクトグラム 語彙力ドリル 語句の意味	別紙19-2添付
24	136	二次元コード		自社ページURL	『街の公共サインを点検する』(本田弘之)より抜粋(写真①について)	別紙20-1添付
				自社ページURL	『街の公共サインを点検する』(本田弘之)より抜粋(写真②について)	別紙20-2添付
				自社ページURL	『街の公共サインを点検する』(本田弘之)より抜粋(写真③について)	別紙20-3添付
			金沢市	https://www4.city.kanazawa.lg.jp/kids/kanazawarashisa/5/15797.html	参考リンク 金沢駅東広場の紹介	
25	138	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/kokokoza/watch/?das_id=D0022110042_00000#in=0&out=1200	動画(NHK高校講座 「この説明で分かりますか?」)	
26	142	二次元コード		自社ページURL	ステレオタイプの落とし穴 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙21-1添付
				自社ページURL	ステレオタイプの落とし穴 語彙力ドリル 語句の意味	別紙21-2添付

申 請 図 書			学習上の参考に供する情報			備 考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
27	156	二次元コード		自社ページURL	人はなぜ仕事をするのか 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙22-1添付
				自社ページURL	人はなぜ仕事をするのか 語彙力ドリル 語句の意味	別紙22-2添付
28	169	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180417_00000	動画(NHK for School 「議論のまとめ方」)	
29	176	二次元コード		自社ページURL	黄色い花束 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙23-1添付
				自社ページURL	黄色い花束 語彙力ドリル 語句の意味	別紙23-2添付
30	177	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005402949_00000	動画(NHK for School 「旧ユーゴスラビア」)	
31	189	二次元コード		自社ページURL	「生物多様性」はなぜ大事なのか 語彙力ドリル 語句の言い換え	別紙24-1添付
				自社ページURL	「生物多様性」はなぜ大事なのか 語彙力ドリル 語句の意味	別紙24-2添付
32	197	二次元コード	環境省	https://ikilog.biodic.go.jp/Rdb/env	参考リンク：いきものログ 環境省絶滅危惧種検索	
			環境省	https://www.env.go.jp/nature/kisho/wildlifecenter/kushiro-shitsugen.html	参考リンク：釧路湿原野生生物保護センター	
			北海道海鳥センター	http://www.seabird-center.jp/	参考リンク：北海道海鳥センター	
			鳥海イヌワシみらい館	https://www.raptor-c.com/	参考リンク：猛禽類保護センター	
			佐渡トキ保護センター	https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/toki/	参考リンク：佐渡トキ保護センター	
			トキの森公園公式サイト	https://www.city.sado.niigata.jp/site/tokinomori/1161.html	参考リンク：トキの森公園公式WEBサイト トキのたより	
			奄美野生生物保護センター	https://kyushu.env.go.jp/okinawa/awcc/	参考リンク：奄美野生生物保護センター	
			ウフギー自然館	https://www.ufugi-vambaru.com/	参考リンク：やんばる野生生物保護センター	
			西表野生生物保護センター	https://iwcc.jp/	参考リンク：西表野生生物保護センター	
33	198	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005320645_00000	動画(NHK for School 「プレゼンテーションのしかた」)	
34	204	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/kokokoza/watch/?das_id=D0022110044_00000#in=0&out=1200	動画(NHK高校講座 「『意見』と『意見文』」)	
35	209	二次元コード		自社ページURL	常用漢字表	別紙25添付

106-237 (書名入る)

著作権について

視野を広げるー自己

自分の立場を明確にする一言語

根拠を示すー文化

論理的に考えるー情報・コミュニケーション

情報を読み取るー社会

伝えたいことを明確にするー相互理解

考えを深めるー仕事

社会に目を向けるー共に生きるということ

資料編

別紙 2-1

1問 / 5問

解答

☐ 宛名

☐ 通り名

☒ 浮き名

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
この城の通称は鯉城である。

別紙 2-2

1問 / 6問

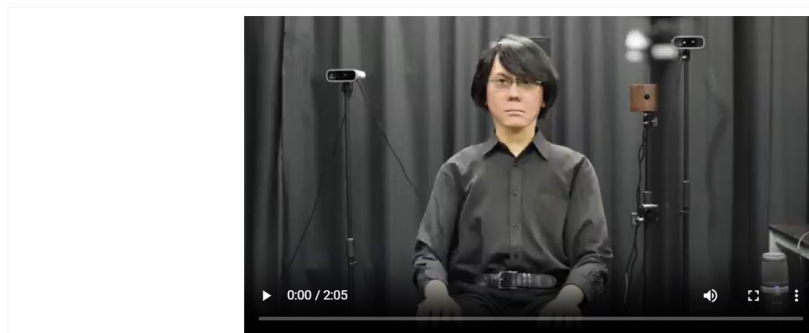
解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
酷似
〈例文〉 店内には酷似した商品が多く並んでいる。

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (吉名入る)

『枠を壊して自由に生きる』 石黒浩氏が製作したアンドロイド 参考動画

参考動画：イシグロイドを用いた研究開発計画のプレゼンテーション



大阪大学石黒研究室

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (吉名入る)

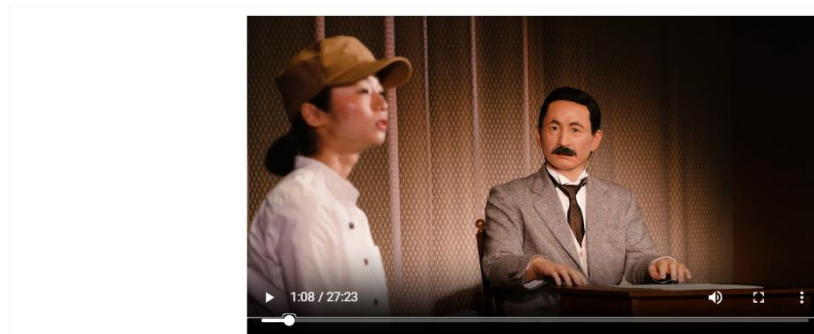
参考動画：漱石アンドロイド（演劇「手紙」）（5分版）



二松学舎大学

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (吉名入る)

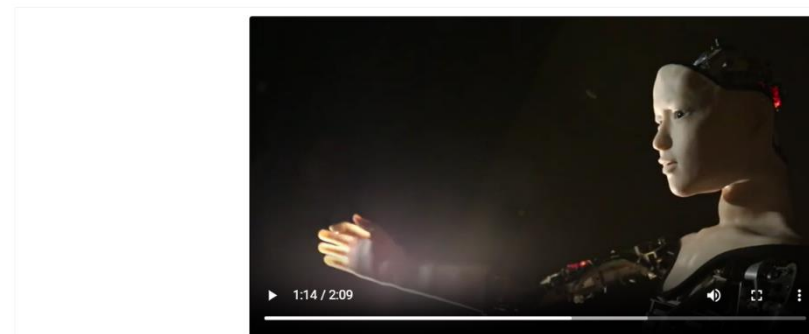
参考動画：漱石アンドロイド（演劇「手紙」）（30分版）



二松学舎大学

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (吉名入る)

参考動画：機械人間オルタ



Justine EMARD監督 "Android Alter" 2020 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 E5503

別紙 4-1

1問 / 5問

解答

☐ 確かに
☐ 必ず
☒ 間違いなく

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
「絶対そうだよ」と断定する。

別紙 4-2

1問 / 4問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
 視点
 〈例文〉 視点を變えて考え直す。

別紙 5-1

1問 / 5問

解答

☐ 前もって
☐ そのうち
☒ ようやく

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
あらかじめ備わっている。

別紙 5-2

1問 / 6問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
 構築
 〈例文〉 友人との人間関係を構築する。

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (書名入る)

【具体と抽象】 解説動画

参考動画：「具体と抽象」解説

抽象
「リンゴ」という言葉・概念

具体

具体と抽象

0:00 / 1:57

1問 / 6問

解答

☐ 緻密 ☐ 厳格 ☒ 詳細

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
厳密に使い分ける。

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
捉える
〈例文〉 抽象的な概念を的確に捉える。

別紙 8-1

1問 / 5問

解答

☐ 最高峰

☐ 発露

☒ 象徴

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
それは芸術の極致であった。

別紙 8-2

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよ。
徒勞
〈例〉 相手が不在で、訪問は徒勞に終わった。

別紙 9

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (書名入る)

『水の東西』 鹿おどしの動画

参考動画：鹿おどし



0:00 / 0:15

POND5/ユニフォンプレス

水に関わる芸術や文化の例

枯山水
かれさんすい

枯山水は日本庭園の様式の一つであり、平らな土地に白砂が敷き詰められ、大きめの石が複数個配置されていることが多い。白砂には器具により直線や曲線が描かれる（箒目）ことがある。植栽や苔が置かれることもあるが、川や池などは作られない。

枯山水は、水を用いずに水のある自然の風景を表現していることが特徴である。白砂は水面に見立てられる。箒目には複数の種類があり、水流や波、その大きさや荒さを想像することが出来る。大きめの石は、たとえば縦長の石と箒目で滝から流れる水を想像させるなど、その組み合わせや配置によって山岳などの自然物や禅宗の概念を表現していると言われる。中には作庭のモチーフや意図が明確にされていない庭もあるが、その分、鑑賞者に自由にイメージを想起させられる側面があるとも言える。このような庭の代表的なものに、龍安寺の庭園がある。（※参考リンク1）

鹿おどしや噴水は実際の水を用いて水の流れを感じさせる仕掛けであるが、枯山水は、水を使わない人工の庭であるにもかかわらず、自然の風景にある水の流れを想像させるところに魅力があると言える。

曲水の宴
きょくすい

旧暦三月初の巳の日（上巳）に、宮廷や貴族の屋敷などで行われた行事の一つ。その起源は中国の周公の時代に始まったとも秦の昭襄王の時代とも伝えられる。上巳に水辺で禊（罪や穢れを落とし自らを清らかにすることを目的とした水浴行為）を行う風習が元となり、のちに禊とともに盃を水に流して宴を行うようになった。東晋の王羲之の「蘭亭序」によると、三五三年に王羲之が「曲水」（曲がりくねった水路）を作って人々を招き、そこに盃を浮かべて酒を飲み、詩を詠じたとある。韓国にも曲水の宴に用いられたと推定される遺構（鮑石亭）が残っている。

曲水の宴は中国から日本に伝来し、奈良時代にはすでに行事として定着していた。菅原道真は曲水の宴を漢詩に詠み込んでおり、藤原道長は私邸で貴族を集めて大規模な曲水の宴を主催した。現在曲水の宴として行われる行事は、曲水に沿って参加者が並び、上流から盃が流され、和歌を詠んだ者が盃内の酒を飲むという形になっていることが多い。

（※参考リンク2）

時代とともに、曲水の宴の行事としての形態や規模は変化したが、水のそばで行われる風習であることは変わらない。宮中行事の雅な雰囲気を見合わせる行事として、また体を清め無病息災を願う人々の思いを継承するものとして、現代にも受け継がれている。



ヴィルヘルムスヘーエ城公園

ドイツのヘッセン州カッセルにある城とその庭園。城は美術館となっており、バロックとロマン主義時代の美学を伝える庭園は公園として公開されている。二〇一三年にユネスコの世界遺産に登録された。（※参考リンク3）

この庭園では夏季に週二回、通称「水の芸術」と呼ばれるイベントが催される。時間になると、貯水池から供給された七五万リットル以上の水が丘陵地の上に立つヘラクレス像のもとから流れ出し、三五〇メートルの多段式の滝や、水道橋、通称「悪魔の橋」の下から流れ落ちる高さ二八メートルの滝などを経由し、最後は間欠泉のような噴水となって高さ五〇メートルまで吹き上がる。水の流れは総延長二キロ以上に及ぶ。

この壮大な仕掛けを含む庭園の造営は一六八九年から始まり、十九世紀にいたるまで続けられた。噴水の原理は、三百年以上前に作られてから現在まで変わっていない。ポンプなどは使用されず、流れ落ちた水の水圧だけで動く仕組みである。ヘラクレス像に正対すると、水路と噴水が左右対称に幾何学的に作られているのがわかる。噴水を含むヴィルヘルムスヘーエ城公園一帯は、建築学的・工学的に卓越した業績として評価されている。

ヴィルヘルムスヘーエ城公園は、水を用いた庭園芸術の粋を集めたものと言える。その魅力の一つは、自然の力と当時の最高峰の技術の融合にあるだろう。

別紙 11

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (書名入る)

【対比】 解説動画

参考動画: 「対比」解説

対比…

対比を見つけ出すポイント

① 共通の観点

× 海は広いが、ゲームは楽しい。
○ 海は広いが、池は狭い。

② 接続表現

・しかし…
・一方…
・それに対して…

0:00 / 2:17

別紙 12-1

1問 / 5問

解答

☐ 規模 ☐ 責任 ☒ 効果

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
スケールの大きな仕事。

別紙 12-2

1問 / 7問

次の表現の意味を答えよう。
風土
〈例文〉 湿潤な風土が日本文学を形成した。

解答を見る

別紙 13-1

1問 / 5問

解答

☐ 曖昧に

☐ 強制

☒ 徹底

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
共通理念を持つことを通達させる。

別紙 13-2

1問 / 6問

解答を見る

次の表現の意味を答えよ。
直面
〈例文〉 思いがけない困難に直面する。

別紙 14

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (書名入る)

【主張と根拠】 解説動画

参考動画：「主張と根拠」解説

主張と根拠

主張 「私はこう思うのだ」

根拠 主張を支える

↓ その主張を行う意図や背景が相手に伝わる

「主張を支える」とは？

- ・根拠が相手に受け入れられるような内容か
- ・根拠の内容が主張と関係があるか
- ・根拠の内容が主張を論理的に補強し、主張の説得力を増しているか

0:00 / 1:49

別紙 15

社名入る 教科書ウェブ
106-237 (書名入る)

【主張と反論】 解説動画

参考動画：「主張と反論」解説

主張と反論

主張（自分の論）

想定される反論

「それは正ではないか。」

先回りした応答

「私の論にはやという反論が考えられる。しかし、それに対しては田と考えられる。」

↓ 説得力が増す

1:45 / 1:48

別紙 16

科目名入力欄 資料用ウェブ
106-237 (書名入力)

【推論】 解説動画

参考動画：「推論」解説

推論…あることから別のことを予想すること
◎演繹的な推論
↓一般的なことから具体的なことを導く

一般 高血圧の患者は心臓病のリスクが高い

具体 ある患者Xは高血圧である

具体 推論結果 ある患者Xは心臓病のリスクが高い

0:50 / 1:49

別紙 17-1

1問 / 5問

解答

○ 思い切った

○ 突飛な

◎ 穏やかな

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
その決断はすがすがしいものだった。

別紙 17-2

1問 / 6問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
投稿
〈例文〉 SNSへ投稿した文章に注目が集まる。

別紙 18-1

1問 / 5問

解答

☐ 頂点 ☐ 要点 ☒ 利点

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
数量化のメリットを示す。

別紙 18-2

1問 / 6問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
格段
〈例文〉 彼らが描いた絵には格段の相違がある。

別紙 19-1

1問 / 6問

解答

☐ 指し示す ☐ 掲げる ☒ 貼りだす

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
サインを掲示する。

別紙 19-2

1問 / 4問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
重点的
〈例文〉 資料を重点的に調べる。

写真①について



写真①は、神奈川県内の路線バスの車中に貼ってあったステッカーです。文字を読むと、ここがペーカーの固定箇所です、という情報を伝えていることがわかります。しかし、日本語（漢字）が読めない人はどう解釈するでしょうか。

左側の「ピクトグラム」を見れば、ペーカーに関する何らかの情報を伝達しようとしているサインだということは、はっきりわかります。しかし、「ピクトグラム」からは、「ペーカーを（ベルトで）固定してください」という情報は全く読み取れません。つまりこれは、ピクトグラムではなく、文字のサインを飾るためのイラストでしかないのですが、いかにもピクトグラム調のデザインで描かれているので問題があります。

繰り返して述べてきたとおり、公共サインの設置（掲示）者は、ピクトグラムが「絵」ではなく、「言語」であるということをはっきり意識して使わなければなりません。ピクトグラム、あるいはピクトグラム風のタッチで描かれた図を、イラスト代わりに文字の隣になんとなく添えてみました、という使い方は避けるべきです。

写真②について



写真②は、やや複雑な例です。左右のサインの文字の左側にそれぞれ図が二つずつ掲示されています。それぞれのサインの左端にある二機の飛行機を表した絵は「航空機の乗り継ぎ」を表すピクトグラムです。では、その隣にある人を表したピクトグラムっぽいものは何でしょうか。

羽田空港の第1・第2ターミナルでは、正式な(?)ピクトグラムと並んで、このちょっとおしゃれな旅客のシルエットが、多くのサインの脇に添えられています。筆者は、初めてこのイラストを見たとき、乗り継ぎを表すピクトグラムに並べて掲示されているのだから、当然、何らかのピクトグラムだと思いました。まず考えたのが、国内線と国際線の区別に使われているのだろう、ということです。しかし、このピクトグラムが国際旅客と国内旅客の特徴を表しているように見えなかったので、意味を求めて空港中をさまよった結果、全くランダムにこの種の(全部で六種類ほどあるようです)図がピクトグラムの横に掲示されていることがわかり、これは単なるイラストなんだ、という結論に達して愕然(がくぜん)としました(ちなみに、なぜか国際線ターミナルにはこのイラストはありません)。つまり、このイラストは「ピクトグラム風に描かれたイラスト」で、装飾として使われているのですが、それを本物のピクトグラムと同じように並べてしまうと、ピクトグラムを見ている人を混乱させてしまいます。

このサインのイラストの右側を見ると、しっかり標準モデルの四言語での掲示があることから、設置者(空港ビルの管理者)の「なぜピクトグラムを掲示しなければならないのか」という意識が曖昧になっているのではないかと危惧されます。

写真③について

写真③は、金沢駅前にあるサインです。日本語が読めない人が、上の自転車のピクトグラムを見てどのような意味だと考えるでしょうか。何人かの人にピクトグラムだけを見てもらったら「自転車を降りてください」と正しく答えた人が多かったので（「駐輪場」と答えた人もかなりいましたが）、このピクトグラムはちゃんと情報伝達の機能を果たしていると思われます。その下に「自転車は降りて通行して下さい。」と書かれているので、設置者もそのつもりでこのサインを作ったのでしょう。つまり、このピクトグラムは、ちゃんと言語（の代わり）として機能するわけです。

ところが、設置者は、その脇に「駅コンコース内は通行禁止」という情報（文字）を後から付け加えました。これは、どういうことでしょうか。

金沢駅の正面には「鼓門^{つづみかど}」というゲートがあり、その後ろはガラス屋根がかかっています。（※参考リンク1）そして、その奥に駅コンコースが続いています。広々とした気持ちのいい空間が広がっていて、金沢駅を利用する観光客のほとんどが、ここで写真を撮っています。現在の金沢を代表する景観の一つとってもいいと思います。

このガラス屋根の下は、自転車は降りて（押して）通行することになっています。しかしここは屋外ともつかず、屋内ともいえない空間になっているので、ピクトグラムを見て、あるいはその下の文字を読んで、自転車を降りて鼓門に入った人が、その解放感ゆえそのまま駅コンコースまで入ってきてしまっても不思議ではありません。実際、そういう人が現れたのだと思います。そこで、設置者は慌てて横に「駅コンコースは通行禁止」という文字を加えたのでしょう。つまり、設置者の意図は「ガラス屋根の下スペースは、自転車に乗って通行してはいけません。でも押して通行してもいいです。しかし、駅コンコース内は、押して通行することもできません」というものでした。しかし、ピクトグラムはそのような複雑な情報を伝えることができません。そこで、文字（日本語）だけ「駅コンコース内は通行禁止」と書き加えたわけです。

しかし、結果として、ピクトグラムだけを見ても情報が伝わらなくなってしまいました。つまり、日本語が読めない人は、従来と同じくピクトグラムを見て「自転車を押して通行することができる」と（正しく）解釈するでしょう。ですから、今後も外国人観光客が駅コンコースに自転車を押して入ってくる姿が見られると思います。つまり、ピクトグラムで伝えられている以外の情報を文字で書き加えてしまうと、その瞬間、ピクトグラムは「言語」（の代わり）ではなく、単なる挿絵と化してしまうのです。これが狭義の「ピクトグラムの挿絵化」です。筆者たちが「ピクトグラム表記を採用すると決めた場合、固有名詞（的なもの）以外の文字表記は、極力掲示すべきではない」と考えるのは、ピクトグラムに文字を併記することが当たり前に行われると、この例のようにピクトグラムが伝える情報と文字が伝える情報の間にしばしば差異が生じ、その結果「ピクトグラムの挿絵化」が起こり、ピクトグラムが情報伝達機能を失う危険性があるからです。



ところで、この話を読んで「外国人観光客は駅前で自転車なんかに乗らないのでは？」と考えた方もいらっしゃると思いますが、現在、金沢市は「まちのり」という公共シェアサイクル事業を展開していて、市の公式観光サイトでも、市内の移動手段として「まちのり」の利用を（日本語と英語で）提案しています。駅の周辺にも「サイクルポート」があるので、ピクトグラムしか読めない人がここを自転車で通ることは十分に考えられるのです。

このようにピクトグラムは、複雑な内容を伝えることができません。では、こんな場合どうすればいいのでしょうか。筆者は長い間「自転車を降りて押す」ピクトグラムを鼓門の前に置き、「自転車禁止」のピクトグラムをコンコースの前に掲示すれば、間違えて駅コンコースに乗り入れる人がいなくなるんだけどなあ、と考えていたのですが、先日、この稿を書いているとき、ひさしぶりに金沢駅に行ってみて驚きました。新たに駅コンコースの入り口に「コンコース内自転車通り抜け禁止」のサインが置かれているではありませんか。

しかし、このサインでは、日本語（しかも漢字）を読める人にしか情報が伝わりません。ここには「自転車禁止」を表すピクトグラムを掲示するべきだと思います。ピクトグラムが掲示してあれば、すべての人に伝わるサインになるはずです。

別紙 21-1

1問 / 6問

解答

☐ 膨張 ☐ 莫大 ☒ 多寡

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
膨大な情報があふれる。

別紙 21-2

1問 / 5問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
概略
〈例文〉 プロジェクトの概略を説明する。

別紙 22-1

1問 / 4問

解答

☐ 支払う ☐ 消耗する ☒ 使う

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
論文の完成に一年を費やす。

別紙 22-2

1問 / 6問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
対価
〈例文〉 労働の対価として給与が支払われる。

別紙 23-1

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
 いっさい手に入らない。

解答

☐ 全く

☐ なかなか

☒ 余分に

別紙 23-2

1問 / 7問

次の表現の意味を答えよう。
 親善
 〈例文〉 両国間の親善のため桜の木を贈った。

解答を見る

別紙 24-1

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
 ドキュメンタリー番組になる。

解答

☐ 実写

☐ 記録

☒ 虚構

別紙 24-2

1問 / 6問

次の表現の意味を答えよう。
 乱獲
 〈例文〉 珊瑚礁や鯨など乱獲されてきた生物がいる。

解答を見る

常用漢字表

案	安	嵐	宛	扱	圧	握	悪	暖	愛	挨	哀	亜
アン	やすい	あらし	あて	あつかう	アツ	にぎる	わるい	アイ	アイ	アイ	あわれ	ア
異	尉	胃	畏	為	威	委	依	医	囲	位	衣	以
コイ	イ	イ	おそ	イ	イ	おだ	イ	イ	かこ	イ	イ	イ
老	一	育	域	緯	遺	慰	維	違	意	彙	椅	偉
イ	ひ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
韻	隱	飲	陰	淫	院	員	咽	咽	因	印	引	芋
イン	イン	イン	イン	イン	イン	イン	イン	イン	イン	イン	イン	イン
英	泳	永	雲	運	浦	畝	鬱	唄	雨	羽	宇	右
エイ	エイ	エイ	ウン	ウン	ウン	ウン	ウン	ウン	ウン	ウン	ウン	ウン
悦	駅	液	益	疫	易	衛	銳	影	詠	營	榮	映
エツ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ	エキ
煙	園	援	媛	宴	怨	炎	沿	延	円	閏	謁	越
ケン	エン	エン	エン	エン	エン	エン	エン	エン	エン	エン	エン	エン
央	凹	王	汚	艶	縁	演	塩	鉛	遠	猿		
オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ	オウ
億	億	屋	岡	横	奥	翁	桜	殴	欧	旺	押	住
オク	オク	オク	オク	オク	オク	オク	オク	オク	オク	オク	オク	オク
化	下	か	穂	温	恩	音	卸	俺	乙	虞	聰	
カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ

常用漢字表

この表は、「常用漢字表」(平成二十二年内閣告示)をもとに、常用漢字二一三六字を字音により五十音順に配列したものである。測だけ認められているものは測により示した。漢字の下のかたかなは讀ひらがなは訓太字は「送り」がな付「け方」による送りがないを示す。傍線を付した音調は用法の狭いものである。色字の漢字は小学校の配当漢字を示す。

常用漢字表

家	夏	架	科	苛	河	果	価	佳	花	何	仮	可	加	火
カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
蚊	課	稼	箇	歌	寡	靴	禍	暇	嫁	過	渦	貨	菓	華
カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
拐	怪	改	戒	快	会	灰	回	介	餓	雅	賀	芽	画	我
カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ
壊	潰	解	楷	塊	階	開	絵	械	皆	界	海	悔		
カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ
柿	垣	骸	概	該	蓋	慨	街	涯	崖	害	劾	外	貝	諧
カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ	カイ
学	穫	嚇	獲	確	閣	隔	較	覺	郭	殼	核	格	革	括
ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク	ガク
轄	褐	滑	葛	割	渴	喝	活	括	潟	掛	顎	額	藥	岳
カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ
乾	陷	看	眷	冠	官	肝	完	缶	汗	甘	刊	干	刊	鎌
カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン
慣	漢	感	幹	寬	勸	閑	間	款	棺	敢	換	堪	喚	寒
カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン
丸	鑑	艦	韓	觀	簡	環	館	還	憾	緩	監	飲	閑	管
カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン	カン

忌	希	岐	氣	机	危	伎	企	𠂔	願	願	頑	眼	玩	岩	岸	含
いまむ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	ガン	ガン	ガン	ガン	ガン	ガン	ガン	ガン
いまい									ガン	ガン	ガン	ガン	ガン	ガン	ガン	ガン
喜	龜	規	寄	基	婦	鬼	飢	起	記	既	軌	紀	季	祈	奇	汽
よろこ	カメ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
よ																
欺	偽	宜	技	騎	機	輝	畿	器	旗	毀	棄	貴	棋	期	揮	幾
あざむ	イツ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
く																
九	虐	逆	脚	客	却	詰	喫	吉	菊	議	犧	擬	戲	儀	疑	義
ここの	ギョ	ギャク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
つ																
救	宮	糾	級	急	泣	究	求	朽	吸	休	旧	丘	弓	及	久	
すく	ミヤ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ
う																
凶	漁	御	魚	距	許	虛	挙	拠	拒	居	巨	去	牛	窮	嗅	給
キョウ	リョウ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ	ギョ
ウ																
教	強	脅	胸	恭	恐	狹	扶	峽	況	協	供	享	京	狂	叫	共
おし	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ	キョウ
を																
玉	極	局	曲	凝	業	晚	仰	驚	響	競	鏡	矯	橋	境	郷	
たま	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク	キョク
ク																
区	銀	吟	襟	謹	錦	緊	僅	筋	琴	勤	菌	金	近	均	斤	巾
ク	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン	ギン
ク																
綠	熊	窟	掘	屈	申	隅	遇	偶	空	愚	惧	具	驅	苦	句	
キョク	クマ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ	クツ
ク																

契	型	係	茎	徑	系	形	刑	兄	𠂔	群	郡	軍	薰	勳	訓	君
ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ
カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
稽	憬	慶	詣	繼	携	傾	輕	景	敬	堂	經	溪	揭	啓	恵	計
ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ
ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ	ケイ
結	決	血	穴	欠	析	激	擊	劇	隙	鯨	迎	芸	鷄	警	鰲	
ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ
ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ	ケツ
健	軒	拳	劍	兼	儉	峯	研	建	肩	券	見	件	犬	月	潔	傑
ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン
ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン
懸	駭	頭	繭	鍵	謙	賢	憲	權	遣	絹	獻	嫌	檢	堅	園	險
ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン
ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン	ケン
古	戸	己	𠂔	巖	源	減	舷	現	原	限	弦	言	玄	幻	元	
コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ
コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ
五	顚	錮	鼓	誇	雇	湖	庫	個	枯	故	弧	孤	虎	股	固	呼
ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ
ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ	ゴ
功	孔	勾	公	工	口	護	誤	語	基	悟	娛	後	吳	午	互	
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
坑	行	考	江	好	后	向	光	交	甲	広	巧					
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
郊	荒	紅	皇	洪	恒	厚	侯	肯	拘	幸	効	更	攻	抗	孝	
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ

港 慌 喉 黄 梗 控 康 高 降 貢 航 耕 校 候 香

カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ カウ

号 乞 購 講 鋼 衡 興 稿 醇 綱 構 鉅 溝 項 絞 硬

ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ ゴウ

駒 骨 獄 酷 穀 黒 国 刻 谷 告 克 豪 傲 剛 拷 合

コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ コウ

佐 左 懸 壘 魂 紺 痕 混 婚 根 恨 昆 困 今 頃 込

サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ

彩 裁 宰 碎 采 妻 災 再 才 挫 座 鎖 詐 差 唆 砂 査 沙

サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ

在 埒 際 載 歳 塞 催 債 載 最 菜 細 齋 祭 濟 採

サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ サイ

刷 札 冊 咲 錯 搾 酢 策 索 柵 昨 削 作 崎 罪 財 剂 材

サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ サツ

傘 産 惨 蚕 棧 参 山 三 皿 雜 擦 撮 察 殺 撈 刹

カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン カセン

司 史 仕 氏 止 支 子 士 暫 斬 残 贊 酸 算 散

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

肢 社 枝 姊 始 刺 使 私 志 伺 至 系 死 旨 矢 市 四

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

飼 資 詩 試 嗣 齒 詞 紫 視 脂 紙 恣 師 施 指 思 姿

カウ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

治 侍 事 児 似 自 耳 次 寺 字 示 諮 賜 摯 雌 誌

チ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

疾 室 失 叱 七 軸 識 式 鹿 鹽 餌 磁 辭 慈 滋 時 持

シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ シ ッ

煮 斜 赦 捨 射 者 舍 車 社 写 芝 実 質 漆 嫉 濕 執

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

守 主 手 寂 弱 若 爵 釈 酌 借 尺 蛇 邪 謝 遮

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

儒 需 授 呪 受 寿 趣 種 腫 酒 珠 殊 首 狩 取 朱

ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ ジュ

習 羞 終 袖 修 臭 秋 拾 宗 周 秀 舟 州 囚 収 樹

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

重 柔 住 充 汁 十 襲 蹴 醜 酬 愁 集 衆 就 遇

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

出 熟 塾 縮 肅 淑 宿 祝 叔 縱 獸 銃 洪 從

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

処 遵 潤 準 順 循 純 殉 准 盾 巡 旬 瞬 春 俊 術 述

シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

小 除 徐 叙 序 助 如 女 諸 緒 署 署 庶 書 所 初
こい ちの じょ じょ じょ じょ たすけ じょ おんな じょ おんな じょ おんな じょ ところ ところ はじめ
 消 将 宵 昭 沼 松 昇 承 招 尚 肖 抄 床 匠 召 少 升
けさる しょう しょう しょう しょう まつ まつ まつ まつ まつ まつ まつ まつ まつ まつ まつ
 硝 焦 燒 晶 掌 勝 訟 紹 章 涉 商 唱 笑 称 祥 症
しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう
 鐘 礁 償 賞 銜 懂 障 彰 詳 照 獎 傷 象 証 詔 粧
しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう
 蒸 量 場 情 常 刺 淨 城 乗 状 条 冗 丈 上
むす じょう じょう じょう じょう じょう じょう じょう じょう じょう じょう じょう じょう じょう
 辱 職 織 囑 触 飾 殖 植 食 拭 色 釀 讓 錠 娘 壤 繩
じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく じやく
 真 浸 振 娠 唇 神 津 信 侵 辛 身 芯 臣 伸 申 心 尻
ま じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん
 刃 人 親 薪 震 審 新 慎 寝 診 森 進 紳 深 針
は じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん じん
 衰 粹 帥 炊 垂 吹 水 囡 須 腎 尋 陣 甚 迅 尽 仁
すい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい
 是 瀬 寸 裾 杉 据 数 崇 枢 髓 随 穗 睡 遂 醉 推
ぜ ぜ せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん

政 齊 青 性 征 姓 制 声 西 成 生 正 世 井
せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい
 誓 製 精 誠 聖 勢 晴 婿 盛 清 逝 凄 省 牲 星
ちか せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい
 惜 隻 脊 席 析 昔 赤 石 斥 夕 税 醒 整 請 靜
おし せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい
 舌 説 節 摂 雪 設 接 窃 拙 折 切 籍 績 積 跡 貴 戚
した せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ せつ
 旋 柱 扇 染 洗 洩 泉 專 宣 先 占 仙 川 千 絶
せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん
 鮮 織 薦 選 選 線 潜 銭 箋 踐 詮 腺 羨 煎 戰 船
せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん
 組 粗 措 素 租 祖 阻 狙 繕 膳 漸 禪 然 善 前 全
ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 搜 倉 送 草 莊 相 奏 走 争 早 壯 双 礎 邇 塑 訴 疎
さう さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい
 總 層 想 僧 装 葬 瘦 喪 創 窓 爽 曾 曹 掃 巢 桑 挿
そう そう そう そう そう そう そう そう そう そう そう そう そう そう そう
 即 贗 贈 蔵 惜 増 像 造 藻 騷 霜 燥 操 踪 槽 遭
そく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく ぞく

常用漢字表

率	卒	統	賊	属	族	俗	測	側	速	捉	息	則	促	足	東
ひきいる	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク	ソク
駄	情	墮	唾	妥	打	汰	多	他	た	遜	損	尊	孫	村	存
ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ
滞	隊	貸	替	逮	袋	堆	泰	帶	退	胎	怠	待	耐	体	対
タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ
諾	濯	託	拓	卓	沢	沢	宅	淹	題	第	台	代	大	戴	態
ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク	ダク
嘆	短	淡	探	胆	炭	単	担	旦	丹	誰	棚	奪	脱	達	濁
タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン	タン
知	池	地	ち	壇	談	暖	彈	斷	段	男	団	鍛	誕	綻	端
チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ
茶	室	秩	築	蓄	逐	畜	竹	緻	置	稚	痴	遲	致	恥	値
チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ	チャ
駐	鑄	耐	衷	柱	昼	注	抽	忠	宙	冲	虫	仲	中	嫡	着
チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ
貼	朝	鳥	頂	釣	眺	彫	張	帳	挑	長	町	兆	斤	吊	貯
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
珍	沈	抄	勅	直	懲	聰	調	澄	潮	嘲	微	跳	腸	超	
チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン

常用漢字表

て	鶴	爪	坪	潰	塚	痛	通	墜	推	追	つ	鎮	賃	陳	朕
ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ
偵	停	通	庭	訂	帝	貞	亭	邸	抵	底	定	弟	廷	呈	低
テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ	テイ
鉄	哲	迭	溺	敵	適	滴	摘	笛	的	泥	諦	締	艇	程	提
テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ	テツ
と	電	殿	伝	田	填	転	添	展	点	店	典	天	撤	徹	
デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン	デン
冬	刀	怒	度	努	奴	土	賭	塗	渡	都	途	徒	妬	吐	斗
フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
党	透	討	桃	島	唐	凍	倒	逃	到	東	豆	投	当	灯	
ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ
糖	踏	稻	統	筒	等	答	登	痘	湯	棟	搭	塔	陶	盜	悼
ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ
瞳	導	銅	働	道	童	堂	動	胴	洞	同	騰	聞	藤	騰	頭
ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ	ドウ
頓	豚	屯	屈	突	凸	桡	読	独	毒	篤	德	督	得	特	匿
トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン
二	に	難	軟	南	鍋	謎	梨	内	奈	那	な	井	晏	鈍	貪
ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ

常用漢字表

年	熱	寧	ね	認	忍	妊	任	尿	乳	入	日	虹	肉	匂	式	尼
とし	あつ	ねい	み	にん	しの	にん	ま	にう	ち	い	に	ひ	に	にお	しき	に
派	波	把	は	濃	農	腦	能	納	惱	の	燃	粘	捻	念		
は	な	は	い	のう	のう	のう	のう	のう	のう	のう	のう	のう	のう	のう		
壳	輩	廃	敗	排	配	俳	肺	背	杯	拝	罵	婆	馬	霸	破	
か	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
博	舶	剝	迫	泊	拍	伯	白	賠	買	媒	陪	培	梅	倍		
はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく
拔	伐	髮	発	鉢	八	肌	畑	箸	箱	爆	縛	漠	麦	薄		
はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく	はく
畔	班	版	板	阪	坂	判	伴	汎	帆	犯	汎	半	反	閥	罰	
はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん
皮	比	ひ	盤	蛮	番	晩	藩	繁	範	頒	煩	搬	飯	斑	販	般
かわ	ひ	ひ	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん	はん
碑	費	扉	悲	被	秘	疲	飛	卑	非	肥	披	彼	批	否	妃	
ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ
氷	百	姫	筆	泌	必	匹	肘	膝	鼻	微	備	美	眉	尾	避	罷
こ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ
頻	賓	貧	浜	品	猫	描	病	秒	苗	標	漂	評	票	依	表	
ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん	ひん

常用漢字表

赴	負	訃	附	阜	怖	府	扶	布	付	父	夫	不	ふ	瓶	敏	
しゆ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ
風	封	舞	部	武	侮	譜	賦	膚	敷	腐	普	富	符	婦	浮	
ふう	ふう	ふう	ぶ	ぶ	ぶ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ
霧	紛	粉	物	仏	沸	弘	覆	複	腹	福	復	幅	副	服	伏	
きり	ふ	ふ	ぶ	ぶ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ
陸	柄	並	併	兵	平	丙	聞	文	分	奮	憤	墳	噴			
りく	へい	へい	へい	へい	へい	へい	きこ	ぶん	ぶん	ぶん	ぶん	ぶん	ぶん	ぶん	ぶん	ぶん
変	返	辺	片	蔑	別	癖	壁	壁	米	餅	蔽	弊	幣	埤	閉	
かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ	かへ
墓	募	母	鋪	補	捕	哺	保	步	は	勉	便	弁	編	遍	偏	
ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ	ぼ
倣	俸	胞	泡	法	放	抱	宝	奉	邦	芳	包	方	簿	幕	幕	
なら	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう
防	忘	妨	坊	忙	乏	亡	縫	褒	飽	豊	蜂	報	訪	崩	砲	峰
ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう
北	頰	謀	膨	暴	貌	貿	棒	帽	傍	望	紡	剖	冒	某	肪	房
きた	けつ	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	ぼう
麻	ま	盆	凡	翻	奔	本	堀	勃	没	摸	墨	僕	睦	牧	朴	木
あ	ま	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん	ぼん

常用漢字表

満	万	抹	末	又	枕	膜	幕	埋	味	枚	妹	毎	魔	磨	摩
マン	マン・バン	マツ	マツ・バツ	また	まくら	マク	マク・バク	うめれる	あじめる	マイ	マイ	マイ	マ	みがく	マ
務	矛	む	眠	民	妙	脈	蜜	密	岬	魅	味	未	漫	慢	
ツム	ほこ	ねむ	ミン	タミ	ミョウ	ミヤク	ミツ	ミツ	ミサキ	ミ	あじ	ミ	マン	マン	
滅	鳴	銘	盟	冥	迷	明	命	名	め	娘	霧	夢	無		
メツ	なる	メイ	メイ	メイ	メイ	メイ	メイ	メイ	メイ	メイ	キリ	ム	ない		
門	黙	目	網	猛	耗	盲	妄	毛	模	茂	麺	綿	面	免	
カモン	だも	め	アミ	モウ	モウ	モウ	モウ	モウ	モウ	モウ	メン	ワタ	オモ	マエ	
由	ゆ	闇	躍	薬	訳	約	役	厄	弥	野	夜	冶	や	問	紋
ユ	ユ	ヤミ	ヤク	ヤク	ヤク	ヤク	ヤク	ヤク	ヤ	ノヤ	ヤ	ヤ	ヤ	モン	モン
遊	裕	猶	湧	郵	悠	幽	勇	有	友	唯	癒	輸	論	愉	喻
ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ	ユウ
洋	妖	羊	用	幼	預	誉	余	予	与	優	融	憂	誘	雄	
ヨウ	アヤシ	ヒツジ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	
養	窯	踊	瘍	様	腰	溶	陽	葉	揺	揚	庸	容	要		
ヤウ	カマ	オドリ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	ヨウ	
雷	来	羅	裸	拉	ら	翼	翌	欲	浴	沃	抑	曜	謡	擁	
ライ	きたる	ラ	ハダカ	ラ	ラ	ヨク	ヨク	ヨク	ヨク	ヨク	ヨク	ヨク	ヨク	ヨク	
痢	理	里	利	吏	り	欄	藍	濫	覧	卵	乱	辣	酪	落	絡
リ	リ	リ	リ	リ	リ	ラン	ラン	ラン	ラン	ラン	ラン	ラン	ラン	ラン	ラン

常用漢字表

硫	隆	粒	竜	留	流	柳	略	慄	律	立	陸	離	璃	履	裏
リュウ	リュウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ	リウ
瞭	療	寮	領	僚	量	陵	獵	涼	料	良	兩	了	慮	虜	旅
リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ
令	れ	類	累	累	涙	増	る	臨	隣	輪	倫	厘	林	緑	力
レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レイ
劣	列	歴	曆	麗	齡	隸	靈	零	鈴	例	戾	勵	冷	礼	
レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	レツ	
弄	勞	老	露	路	賂	炉	呂	ろ	鍊	練	廉	連	恋	裂	烈
ロウ	ロウ	ロウ	ロウ	ロウ	ロウ	ロウ	ロウ	ロウ	レン	レン	レン	レン	レン	レン	レン
話	和	わ	論	麗	録	六	龍	漏	樓	廊	浪	朗	郎		
ワ	ワ	ワ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	
腕	湾	梓	惑	脇	脇										
ウデ	ワン	ウデ	ウデ	ウデ	ウデ										

常用漢字表 付表

常用漢字表付表

・二字以上の漢字による熟字や当て字のうち、慣用の広く久しいもの。
 ・以下にあげられている語を構成要素の一部とする熟語に用いてもかまわない。
 例「河岸(かし)」→「魚河岸(うおがし)」→「居士(じし)」→「言居士(いげんじ)」

あす	明日	かし	河岸	さつき	五月	たち	太刀	ねえさん	姉さん	ちき	猛者
あずき	小豆	かじ	鍛冶	さなえ	早苗	たちのく	立ち退く	のら	野良	ちめん	紅葉
あま	海女・海士	かぜ	風邪	さみだれ	五月雨	たなばた	七夕	のりと	祝詞	やおや	八百屋
いおう	硫黄	かたず	固唾	しぐれ	時雨	たび	足袋	はかせ	博士	やまと	大和
いくじ	意気地	かな	仮名	しつぽ	尻尾	ちこ	稚児	はたら	二十・二十歳	やよい	弥生
いな	田舎	かわせ	蚊帳	しなせ	老舗	つきやま	一日	はつか	二十日	ゆかた	浴衣
いぶき	息吹	かわら	為替	しばふ	老舗	つゆ	梅雨	はとば	波止場	ゆくえ	行方
うなばら	海原	きのう	河原川原	しみず	清水	てつだう	凸凹	ひとり	一人	よせ	寄席
うば	乳母	きょう	今日	しゃみせん	砂利	てんま	伝馬船	ひより	日和	わこうど	若人
うわき	浮気	きもの	着物	じやう	数珠	とみ	伝馬船	ふたり	二人	えひめ	愛媛
うわつく	浮つく	くどう	今朝	じやうず	数珠	とみ	伝馬船	ふつき	二日	いばら	茨城
えがお	笑顔	けしき	景色	しらが	白髪	とうさん	父さん	ふぶき	吹雪	ぎふ	岐阜
おじ	叔父・伯父	けしき	景色	しらす	素人	とえはたえ	十重二十重	へた	下手	かごしま	鹿児島
おとな	大人	こち	心地	しらす	素人	ときよう	読経	まいご	迷子	しが	滋賀
おとめ	乙女	こち	心地	しらす	素人	ともだち	友達	まじめ	真面目	かながわ	宮城
おば	叔母・伯母	ことし	今年	しらす	素人	なごり	名残	まっか	真つ赤	とつとり	鳥取
おまわりさん	お巡りさん	さおとめ	早乙女	すきや	数寄屋・数寄屋	なごり	名残	まっか	真つ赤	とおきか	大阪
おみき	お神酒	さじき	肴	すもう	相撲	なごり	名残	まっか	真つ赤	とおきか	大阪
おもち	母屋・母家	さじき	肴	すもう	相撲	なごり	名残	まっか	真つ赤	とおきか	大阪
かあさん	母さん	さじき	肴	すもう	相撲	なごり	名残	まっか	真つ赤	とおきか	大阪
かぐら	神楽	さじき	肴	すもう	相撲	なごり	名残	まっか	真つ赤	とおきか	大阪